



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2025年3月21日

SDGs への探究を表彰するコンテスト『SDGs 探究 AWARDS 2024』 「すららネット賞」決定！

“読み書きの困難”を乗り越える新たな学び方を提案した中学2年生が受賞

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）は、2025年3月16日に開催された『SDGs 探究 AWARDS 2024』（主催：一般社団法人 未来教育推進機構、運営：株式会社ワークアカデミー）において、当社が設けた「すららネット賞」の受賞者を決定しました。

“読み書きの困難”を乗り越える新たな学び方を提案した中学2年生が受賞

今回「すららネット賞」に選ばれたのは、小平市立小平第四中学校2年の森谷美咲さんです。受賞作品のタイトルは「学習困難の壁を突破！～得意な所からゴールを目指す アプリ開発～」です。本作品は、読み書きに困難を抱える妹の学習を支援するために、自ら学習アプリを開発し、新たな学び方を提案した探究活動です。身近な課題に目を向け、丁寧な観察と分析を通じて問題の本質に迫り、実際に解決策を形にしていくプロセスが高く評価されました。

すららネットでは、「教育を通じて社会課題の解決を目指す」という観点から、本アワードのテーマに沿って社員による審査を実施しました。森谷さんの活動は、身近な家族の困難からスタートし、現実と理想のギャップを丁寧に埋めていく探究活動に対する姿勢に加え、アプリ開発という実装までやり抜いた熱意と行動力が際立っていました。



愛情に満ちた熱意と行動力が際立つ森谷さんのレポートの一部

熱量と愛情に満ちた作品は、すららネットの目指す世界に強く共鳴

株式会社すららネット 執行役員 林 俊信

株式会社すららネット 執行役員の林俊信から、「すららネット賞」を受賞した森谷さんに次のようにコメントしました。

「森谷さんの作品はまさに共感を呼ぶテーマであり、問題解決の基本である“現状の細やかな観察と分析”が実践された取り組みでした。実際にアプリを開発し、学習に困難を感じている人の視点に立って課題を解決しようとする姿勢は、私たちすららネットが大切にしている教育のあり方と深く重なります。実際に当社では、一人ひとりの漢字の覚え方に合わせて学び方が変わる、漢字学習教材を開発、提供しています。様々な角度から個別最適な学習の在り方を追求するすららネットとして、今回の作品には強く共鳴しました。『すららネット賞』受賞、おめでとうございます。」

「すららネット賞」受賞者コメント

活動を通じて、相手の目線に立って寄り添うことの大切さを実感

小平市立小平第四中学校 2年 森谷 美咲さん

表彰式には部活動があったため参加できなかった森谷さんですが、次のようなコメント寄せてくれました。

「この度は、数多くあるエントリーの中から2つの素晴らしい賞に選んでいただき、ありがとうございました。受賞の報告を聞いた時は、とても驚きました。今回の活動は、妹が読み書き困難というあまり目立たない困難で、その対応に母が頭を悩ませていたので自分にも何か手伝えることがあるのではないかとスタートしました。

SDGsには、多様性を尊重する考え方が含まれています。すべての人が公平に学び、成長できる環境をつくるのが大切です。学校の中では、個性を表に出すことを恥ずかしいと感じてしまう空気もありますが、それが困難を抱える人の生きづらさにつながっていると感じています。この活動を通じて、相手の目線に立って寄り添うことの大切さを実感しました。これからも、誰もが個性を認め合える社会になることを願っています。」



■SDGs 探究 AWARDS とは



SDGsをテーマとする学生向けコンテストの先駆けとして2019年よりスタートし、2024年度で6回目を迎える『SDGs 探究 AWARDS (以下、アワード)』。未来を担う若者が世界の問題を「自分ごと」として捉え、持続可能な社会に向けて自分たちができるアクションを考え、表現できる場を作りたいという想いから一般社団法人 未来教育推進機構が立ち上げた、中高生・学生を対象としたコンテストです。これまでのエントリー総数は約9,000件にのぼります。

今年度も、国連広報センター、文部科学省、外務省など多くの後援により実施されます。

SDGs 探究 AWARDS 公式サイト <https://sdgs-awards.umedai.jp/>

※SDGs 探究 AWARDS は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

すららネットの探究型イベントがリニューアル

すららネットでは、2015 年から ICT の活用により学年・地域の垣根を越えて全国の参加者とともに、答えのない課題解決に向け学び合う、当社独自の探究型イベントを開催しています。これまでに、延べ 2600 人以上の子どもたちが参加しました。参加者にとって、進路選択のきっかけになることも少なくない当社の探究型イベントです。

今年はプログラムをパワーアップしてリニューアルします。詳細は、専用サイトでお知らせいたします。

<過去の探究イベント情報>

◆第 10 回「すらら アクティブ・ラーニング」

<https://surala.jp/summary/activelearning2024/>

◆「すらら アクティブ・ラーニング」OBOG インタビュー

<https://surala.co.jp/service/activity/specialcontents/activelearninginterview/>

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」と「すららドリル」を、国内では 2,600 校以上の学校、塾等約 25 万人の児童生徒に提供しています。全国の公立学校、有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど、日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け、代表的な EdTech スタートアップ企業として 2017 年に東証マザーズ（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp>